

令和7年度盛岡第二高等学校第3回学校運営協議会 議事録

令和8年2月18日(水)

14:00～15:30

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校運営協議会委員 8名
学校職員 12名

○日程 13:45 受付 14:00:学校運営協議会(～15:40)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 会長挨拶 (会長)

雪で登校が大変だった一月が終わり、あっという間に二月も半ばを過ぎて、卒業式も近くなった。今日も色々な意見を伺いながら進めて行きたい。

(3) 校長挨拶 (校長)

早いもので年度末を迎えることになった。この一年間を通じて、皆様から頂いたご意見をできる限り学校運営に反映させていければと考えながら動いて来たが、皆様のお蔭で、こちらが気付かない部分などを考えて進めることができた。

この一年間の生徒の様子については、各学年や場面場面で揺れはあるものの、非常に頑張っているのではないかと考えている。健康状態も本校は比較的安定していたし、部活動も皆様のご支援もあって、よく頑張っていた。

残るところ僅かとなったが、本日は皆様からご意見を頂戴し、次年度に繋げたい。

(4) 令和7年度学校概況説明

ア 学校経営計画について(校長)

4 目指す学校像

今年度の重点目標

ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る

・「授業が分かる」と答えた生徒の割合→89%

イ キャリア教育の充実により、進路希望の実現を図る

・「進路実現に向けた適切な指導が行われている」と答えた生徒の割合→95%

ウ バランスのとれた教育活動を実践し、主体性と協調性の育成を図る

・「二高に入学してよかった」と答えた生徒の割合→89%(昨年比6%増)

エ 学校いじめ対策組織を有効に活用し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処にあたる

・認知したいじめが解消した割合→67%

オ 地域とともに歩む学校として、開かれた学校づくりを推進する

・「教育活動を通し地域社会に貢献している」と答えた保護者の割合→78%

カ 生徒を個々として尊重し不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する

・「安心して学校生活を送ることができている」と答えた生徒の割合→93%

イ 学校評価アンケート結果について(副校長)

※分析については別紙資料参照

委員 :「二高に入学してよかった」というアンケートの結果が多くて、すごい思ったが、転学した生徒もいると聞いている。その理由は何か。

教務課:一家転住が1件で、その他は進路変更である。

- 委員 : 「教育活動を通し地域社会に貢献している」という指標について、何が基準になっているのか。主体的に動いている生徒も実際にいる中で、こうした数値になっているのは、その裏側にどのようなことがあるのか、感じることを教えてほしい。
- 校長 : 進路関係や探求活動で外に出ていく生徒はいるが、学校として纏まっての動きではないので、なかなか見えづらいところがある。
- 進路課 : 本校の生徒は、声をかけると、大変レスポンスよく様々な活動に参加してくれる。ただ、全校生徒に対する割合からするとそう多くはないので、その話を家庭で聞かない保護者からすると、やっていないように感じられるのだろう。
- 委員 : だとすると、なかなかハードルの高い目標に思われる。
- 委員 : 「生活のきまりやマナーの遵守」について、どういう課題を持っているか。
- 生徒課 : タブレットの持ち込みが可能となり、スマートフォンの校内での使用も禁止しないことになったが、教室の中だけで、学習に必要な場面で使用、というのがルールになっている。ただ、それ以外に使用している例もあるので、見つけ次第注意はしている。現実には、学習に必要なかどうかの判断は困難なので、マナーとして使用場所についての指導に重点を置いている。
- 整容については、夏季にTシャツ短パンでの登校を認めているが、ワンポイントという規則にもかかわらず大きな柄のものを着てくる生徒もいた。化粧についても、細かい部分については指導が難しい。職員の間で基準を明確にしながら、守らせるべきところは守らせていくつもりである。
- 委員 : 7年前に来校した時に、自分が在籍していた頃と同じような雰囲気 of 生徒たちに驚いたところ、当時の校長から、職員が指導しなくても生徒たちが先輩を見て自然とそうになっている、と説明されたことがある。気候や時代の変化ということもあるかも知れないが、生徒たちの中で、きちんとしなければならないという意識が消えつつあるのではないかと心配だ。
- 生徒課 : 学校として、悪い生徒が増えたとか、白梅精神が無くなったとか、そういうことはないと思う。整容面が緩くなっている部分はあるので、そこは気にしながら指導していきたい。
- 委員 : 家庭学習の課題は、どのくらい出しているのか。それとも、自主的な学習なのか。
- 教務課 : 1・2年生では、国数英について週末課題という形で、学校から提示して実施している。時間としては各科目1時間程度だが、欄外に書き込みなどを行ってしっかりと取り組んでいる生徒もいれば、そうでない生徒もいる。

ウ 各課中間報告（各課主任）

【総務課】

- 1 庶務・行事等の諸活動を円滑に運営する。
- 2 P T A（白梅振興会）活動の活性化をはかる。
 - ・活発に行われている。ただ、県高P連事務局から、P T A会計はP T Aに関わる支出のみにするよう指示があったので、来年度は支出項目を見直す予定である。
- 3 創立130周年に向け、資料を整備する。
 - ・令和9年の130周年事業に向けて、12月に記念事業協賛会の発会式が行われた。
- 4 白梅同窓会との連携促進に努める
 - ・会計が厳しく、今年度から会報の発送に制限を設けた。
 - ・次年度、HPの立ち上げを予定している。

【教務課】

- 1 生徒の学力向上
 - ・4月の面談月間は継続。
 - ・課題テストは一斉ではなく各教科の裁量での実施に変更した。

・昨年度から45分授業に変わった。学外の活動や部活動、3年生の指導などに有効に使われている場面もあるが、何にも取り組んでいない生徒も出て来ているので、面談等を通して指導していきたい。

2 教員の指導力向上

・ロイロノートは今年度から正式契約となった。ICTの活用については、教員の使用は定着したが、生徒の使用は教科による差が大きい。

【生徒指導課】

1 生徒規律の確立

・防寒のため冬季のジャージ登校を試行実施中。生徒からは好評だが、制服の着用機会が減るため、一部保護者からは反対意見が出ている。来年度については検討のうえで決めたい。

・制服検討委員会を設立し、新制服の制定に向けて準備を進めている。令和10年度から導入の予定。

・スマートフォンのマナーについて重点指導を行う。

2 生徒会活動・部活動

3 安全指導

・4月からヘルメット着用を自転車通学の条件とすることに決定した。

【進路指導課】

1 進路意識の涵養

・一学年の大学訪問は、今年度から岩手大学と岩手県立大学で実施。

2 総合型・学校推薦型選抜の指導

・今年度から志望理由書サマーキャンプを実施。

・書類の作成をAIで行っているのではないかと疑われているような面接の質問が多くあった。

3 一般選抜指導

・大学入学共通テストが今年度からWEB出願になったが、大きなトラブルは無かった。

4 進路情報の提供

・進路関連チラシはTeamsで配布している。生徒からも好評で、参加率が上がった。

委員：PTAの未加入者は、学校にどのくらいいるのか。また、PTAに関わる支出とは、どのようなものか。

総務課：今はゼロ（全員加入）である。PTAの支出に限定すると、理事会の旅費や総会費、委員会の活動費、研修旅行の旅費、PTA通信の印刷費、などになる。

委員：今まで他に使っていたというものには何かがあるか。

総務課：AEDのレンタル料や、高教研の会議費、保健関係の清掃用具費などを支出していた。職員も会費を支払っていることからそうした支出を行っていたが、高P連からは見直すように求められている。

委員：学校で必要なものだし、生徒に還元されるようなものにも思えるが。

総務課：振興会会計に振り分ける形になると思われる。

委員：他校では未加入者はどのくらいいるのか。

総務課：県内で数名いると聞いている。

委員：自転車通学生のヘルメット着用について、前回の協議会の際に、市内の高校で連携して一斉に始まれば良いなということだったが、そうなったのか。

生徒課：盛岡市内の大多数の学校で、4月から実施される。

委員：自転車通学生はどのくらいいるのか。

生徒課：180人くらいと思われる。

委員：今年度の交通事故が6件ということで、昨年（1件）より増えているようだが、

どういう内容の事故なのか。

生徒課：自動車と自転車の接触が4件、歩行者と生徒の自転車の接触が1件、自転車単独の転倒が1件、となっている。いずれも無傷または軽微な怪我に留まっているが、注意していきたい。

委員：自転車利用での事故とのことなので、ヘルメット着用義務化の機会に、安全について指導していただきたい。

委員：自転車で自動車の脇をすり抜けるときに傷を付けてしまった例があるので、気を付けてほしい。

委員：部活動未加入者が増えているようだが、その原因をどのように分析しているのか。また、何か働きかけは行っているのか。

生徒課：加入が強制ではなくなったことで増えて来たところはある。学年で見ると2年生が多いが、入学当初は入っていたものの途中から行けなくなり、1年生の間に退部したという例が多かったようだ。担任は部活動の続行を勧めているが、その一方で、部活動に限らず校外活動に携わるのであれば、それも悪いことではないと考えている。

【保健厚生課】

- 1 健康管理および保健指導の徹底
 - ・健康教室は、来年は回数を減らす予定である。
 - ・熱中症対策で、校舎外に自販機を設置する予定。
- 2 保健衛生および安全管理指導の徹底
 - ・清掃当番割り当てを縦割りにしたが、不評のため来年度はクラスごとに戻す。
- 3 保健組織活動の充実
- 4 その他
 - ・生徒は和式トイレを使いたがらないため、今後は段階的に洋式に換える必要がある。
 - ・非常用の簡易トイレを購入する予定。

【教育相談課】

- 1 教育相談活動の充実を図る。
 - ・スクールカウンセラーの存在が浸透してきて、保護者や職員の利用も増え、連携が取れるようになってきた。
 - ・かがやきプランでの支援員の配置により、生徒の話をじっくり聞く機会が増えた。
 - ・今年度はカウンセラーによる健康教室を実施した。今後はスクールソーシャルワーカーについての研修会を開催したい。
- 2 生徒理解に努め、支援を必要とする生徒への援助を模索する。
- 3 外部相談機関・医療機関との連携

【図書課】

- 1 蔵書・資料の充実と読書の促進
 - ・進路選択や志望学科に沿った本を選択した他、可能な限り生徒の要望に応えるようにした。
 - ・読書感想文コンクールの取り組みについて賛否両論あるが、生徒に対して本を読まなくてよいというメッセージを発信するのは避けたいので、時期を変更するなどして継続して実施したい。
- 2 図書館の環境整備
 - ・事務補助員の存在が不可欠。
- 3 新聞コーナーの充実と活用の推進
 - ・3年生で特に、新聞の切り抜きが活用されていた。ミニプレゼンテーションの継続には検討が必要。

4 委員会活動の充実

- ・文化祭で図書委員の企画（レジン作り）を展示した。

5 芸術鑑賞

- ・今年度は古典芸能を鑑賞した。

【情報・研究課】

1 情報ネットワーク機器等の管理

- ・毎日の連絡に t e a m s や f o r m s を活用している。

2 校内授業研究会の企画

- ・全教職員が年一回授業公開を行っているが、より充実させていきたい。

3 学校案内、学校ウェブサイトの制作・管理

- ・情報の風通しを良くすることを心掛けている。ウェブサイトは毎日更新し、県内の高校ではトップクラスの閲覧数を記録している。

委員：情報発信の作業は、誰か担当しているのか。

情報課：情報課員が担当している。

委員：各学校には、担当する体制が無いから、毎日更新できないのか。

情報課：多分他校では、分掌ごとに作成したものを時間軸で並べる人がいないので、毎日の更新をしていないと思われる。

(5) 意見交換

委員：ICTを生かしながら勉強の仕方や時間の使い方を学ぶ機会を、どこで作って行けば良いのか、と日々考えている。また、洋式トイレが増えることを、切に願っている。ウェブサイトは二日に一度は利用している。新しいものを取り入れて、二高が更に発展していけるようであれば、と思った。

委員：長年の懸案だった制服の変更を決断してもらった。色々な意味で変わらなければならぬ時期に来ているように思う。「老舗」としての良さも残しつつ新しい時代に即したものに変わってほしい。長い間の生徒たちの活動の蓄積と精神性が、良い形で発展してくれたらと思う。

委員：高P連の講演会の際、教員が授業以外で時間を取られている要因は何かと講師に質問したところ、ICT対応が大きいのではないかとの答えを得た。果たして授業の方にどのくらいの効果があるのか、聞きたい。また、公立の進学校で、講師を招いて課外を実施している例があるのか、併せて聞きたい。

教務課：ICTについては、模索している最中である。

進路課：一高主幹の「難関大講座」が、外部講師を招いて土日に行われているが、講師料が値上がりしており、日程短縮などの案が出ている。公立校で、平日に、外部講師を招いて課外を行うのは、難しい。職員が講師になる場合、平日の放課後に実施すると、勤務時間を超過してしまうという問題が生じている。

委員：二高に入学して良かったという生徒が89%いる、というのは、本当に良いことだと思う。大学生に、中・高校時のブラック校則に何があったかと聞いた時に、「化粧の禁止」と答えた生徒が結構いた。そういう時代なのかとも思うが、制服を変えるに当たって、生徒・職員・保護者がよく話し合っ、いい形で進めば良いと思っている。

委員：SNSの使用率は中学生でも6割に達していて、色々問題も出ている。進路指導や部活動など、高校の先生は大変だと思う。懸垂幕が多くて羨ましい。ボランティア等を積極的に進めるとしても、学校をアピールするのは難しい。

委員：現在、少子化が進んでいて、発表された募集人員を見ると、二極化が進んでいるように見受けられる。また、所得制限が撤廃されたことにより、私立校が選択肢に入りやすくなっている。そんな中で、二高の魅力を更に磨いて、情報発信も継続して進め、

選ばれる高校として運営して行ってほしい。

委員 : アンケートのスコアを見る限り、何も言うことはないのではないかと思います。先日企業の若手社員のプレゼンのイベントで、司会者が素晴らしかったのを聞いてみたところ、二高出身の大学生だったので、大変驚いた。学校で培ったものはしっかり花開くので、信じて学んで行ってほしいと思う。

委員 : 少子化の中、学校が生き残っていくために、魅力が必要なことは確かだと思う。そういう意味でも、制服の変更がいい方に行けば良い。情報発信の仕方については、驚かされた。

(6) その他

(7) 閉会